

2014/08/07

搬出ソリの拘束方法について

堀田 英宏

▼ 搬出ソリについて



図1 搬出ソリの基本形（筆者撮影）

- ・使用物品：板4本、ストック2本、細引き数本
- ・その他、ザック1コをソリに結び付けてクッションにする。

拘束の方法

▼ 細引き

歩く会では技術として確立しつつあるので、継承していくべき。

レスキューに必ず入っているのに、汎用性もある。

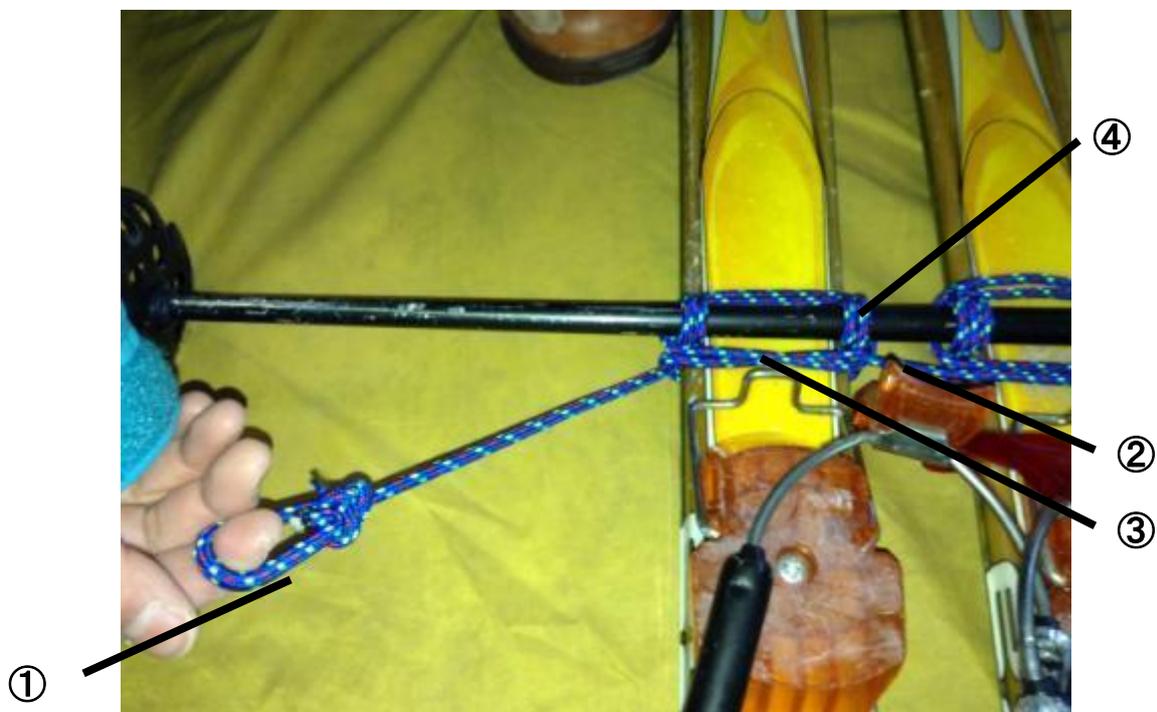


図 2 細引きでのソリ作成 (筆者撮影)

- ・細引きを板の下からストックの上へと掛けて、ストックを板に引き付ける(①)。
- ・細引きを、板の上を2回ほど回して、両脇の細引きを固定する(②)。
- ・細引きを次の板へ渡す(③)。
- ・末端はもやい結びでわっかを作って、引きヒモをつければ、引っ張られるため締まる(④)。

▼ ゴムバンド



図3 ゴムバンドでの拘束方法（筆者撮影）

2通りある。

- ① ゴムバンド1本で、板の下を渡し、ストックは上から巻き付けて固定する。
- ② ゴムバンド2本で、交叉して結びつけ、固定する。

・簡便で強度が強く、摩擦も小さい。

・ゴムは劣化するので、管理に気をつける。

・実際のフィールドでは低温で固くなるので、結束が難しい。かなりの力が必要。

▼ 結束バンド

ゴムバンドの②の方法と同様。隣同士の結束バンドを、結束バンドで結ぶとかなり固定される。

結束部をマイナスドライバー等で詰めると、かなりきつく締まる。

- ・簡便で強度が強く、摩擦も小さい。
- ・劣化の心配はない。
- ・低温で固くなることはない。力も不要。
ただし、あまりの低温でプラが凍るかも。
- ・かなりの本数が必要になり、修理道具などがかさばる。

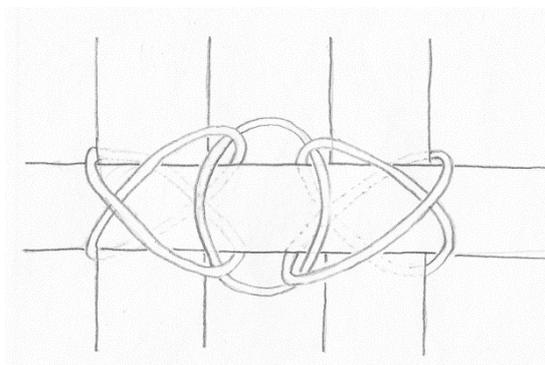


図4 結束バンドでの拘束方法
(筆者描画)

以上